

セントラルタウン・佐和田商工会館前のバス停新設及び経路の変更について

1. 目的

現状路線バスの運行のない佐和田地区バイパス方面へ経路変更することにより、郵便局、銀行などの公共施設や、商業施設を経由することができ、自動車等を運転できない方の利便性向上を図られると考えるため、社会実験として「佐和田商工会館前」と「セントラルタウン前」バス停を設置し利用状況を検証したい。

2. 対象路線

本線

3. 運行時刻（案）

学生の通学に支障が出ず、商業施設等の利用可能な時間。9：30～18：00を想定

4. 運行経路

別紙のとおり

5. 運行開始時期（予定）

平成25年8月1日

6. 乗降見込み

セントラルタウンについては年間9万2千5百人（レジ客数）の利用者があり、現在は路線バスの接続が無く自家用車利用による来客のみである。経路変更により高齢者および買物困難者の外出支援が可能となり、路線バス利用が見込まれる。

また経路の付近には第四銀行、郵便局などの施設があるため、これらへ向う乗客も見込まれる。

7. 経費見込み及び収益目標の設定

経費については本線相川行き、両津行きの25本について経路を変更し、1日あたり25kmの運行距離増加となる。

$25\text{km} \times 250\text{円} (\text{キロ当たり経費}) = 6,250\text{円}$

1日あたりの経費増は6,250円となる。

収益については経費を上回る目標設定として新規利用客の獲得を図る。

$6,250\text{円} \div 483\text{円} (\text{本線一人あたり平均運賃}) \approx 13\text{人}$

1日あたりの目標人数は採算ベースとなる新規利用客13人の他に佐和田BSからの流用を含め、各便1名ずつ乗車するものとし、新規バス停において合計25名とする。

8. 事業の評価

運行開始前の1週間と運行開始1ヶ月後の1週間の対象バス停での乗降者数を比較し、利用客の増減により評価する。

対象バス停（佐和田BS前、セントラルタウンバス停、佐和田郵便局前、河原田諏訪町、至誠堂前）